




人の世に熱あれ、人間に光あれ

2022 年度 部落解放祈りの日 運動パンフレット

部落解放祈りの日：2022年7月10日 主日



●日本基督教団は、1975 年 7 月 14～15 日開催の常議員会にて部落差別問題特別委員会の設置を決議し、教団としての部落解放の働きを正式に開始いたしました。この出発点を覚え、7 月第 2 主日を「部落解放祈りの日」とすることを、教団部落解放センターは提案しております。多くの教会・伝道所がこの祈りの運動に参加されますようお願いいたします。部落解放が教会・伝道所の祈りの課題とされ、部落差別の問題に肉薄する説教・聖書研究がなされ、部落差別について学びの時がもたれることを願っております。

●昨年「部落解放祈りの日」礼拝を実施された教会・伝道所で実際に用いられたものを中心に、祈りの言葉や聖書箇所、讃美歌の例を紹介いたします。参考にいただければ幸いです。あくまで各教会・伝道所の式文やプログラムを尊重すべきだと考えますので、式文の例示はいたしません。

●各教会・伝道所で作られた独自の祈りやリタニーを、ぜひ教団部落解放センターにお教えください。この運動を豊かなものとするために、「アンケート集計報告書」や「運動パンフレット」などで分かち合いたいと思います。

●「アンケート集計報告書」をご活用ください。そこには、多くの教会・伝道所の「部落解放祈りの日」礼拝式文などが掲載されております。この祈りの運動のヒントがその中から与えられるはずです。

●部落解放センターの働きに関わる費用は全て皆様にお願ひしています献金によつています。どうか「祈り」と共に献金のお支えをよろしくお願ひいたします。

部落解放方針に親しもう

「私たちキリスト者は主イエス・キリストを通して、神が愛されている存在として人間を理解します。人間は誰もが等しく神により創造され、神の愛により固有の尊厳を与えられた掛け替えのない存在です。この信仰によれば、人間の平等と尊厳を否定する部落差別は神の創造の御旨を否定し、被造物としての人間に対するゆるすべからず冒涇です。この理解において私たちは、部落差別を単に歴史的、政治的、社会的な側面からだけでなく、様々な差別や抑圧を生み出す自己の罪に深く関わる、信仰の問題としてとらえます。この方針は、以上のような私たちの信仰に立ち、ゆるされて生きる者にふさわしく、今もなお教会において、また、社会において、結婚差別や就職差別、生活の中での様々な差別言動として現存する部落差別の解決に努めようとするものです。」

これは2000年7月12日に制定された「日本基督教団 部落解放方針」のはじめに述べられていることです。これこそまさに私たち信仰者として最も基本的なことです。

日本基督教団は部落差別についての組織的な取り組みを1975年に開始し、1981年には部落解放センターを開所し、1995年には部落解放センター規約を教憲、教規に明文化、教団の宣教の課題として位置づけました。しかし、その一方で取り組む教会が少数であり、なお教會的に部落差別が存在するなど多くの課題を抱えています。

このような状況の中で部落差別問題にさらに着実に取り組んでいくために現状認識と目標、姿勢と方策を明らかにするために教団は「部落解放方針」を制定しました。そして毎年7月第2日曜を「部落解放祈りの日」と定め、この方針が各教会・伝道所の宣教活動に、また信徒の皆さんのあかしの生活に活かされる事を願って活動を続けています。

コロナ禍となって3年目、教会が直面している危機的状況は一段と厳しさを増しているのではないでしょう。

私はこのような時こそ、部落解放方針を各自の生活の中で具体化していくことが重要だと思っています。この方針は部落差別を人と人との関係のゆがみの問題としてとらえています。この〈差別―被差別〉というゆがみの関係の変革をめざしていくのが私たちのあかしの生活です。私たちは個人の在り方を大切に、一人ひとりの「わたし」（自分）が生活の中で部落差別を拒否し、部落差別に負けないことを目指すと共に、そうした個人の輪を広げていくという仕方で宣教の課題に取り組んでいくのです。この方針には、そのために必要・有用なヒントや手掛かりがたくさん書かれています。この方針は引き出しの中に大切にしまっておく（教憲・教規に明記する）ためだけのものではなく、ちよくちよく取り出して人と人とのゆがんだ関係を改善していくために役立てていくためのツール（道具）なのです。「教団部落解放方針」をひとりでも多くの方が身近に感じて親しみ、あかしの生活の前進のために活用して下さることを心から願っています。

2022年4月30日

日本基督教団部落解放センター 運営委員長 亀岡 顕

《 聖書箇所 の例 》

創世記 3:1-24

主なる神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。・・・

出エジプト記 1:1-21★

ヤコブと共に一家を挙げてエジプトへ下ったイスラエルの子らの名前は・・・

レビ記 3:1-17

奉納者が献げ物とする牛の頭に手を置き、臨在の幕屋の入り口で屠ると・・・

レビ記 19:18

復讐してはならない。・・・

ネヘミヤ記 13:23-31

またそのころ、ユダの人々がアシュドド人やアンモン人やモアブ人の女と・・・

イザヤ書 56:1-8★

主はこう言われる。正義を守り、恵みの業を行え。・・・

イザヤ書 61:1★

主はわたしに油を注ぎ・・・

エレミヤ書 9:1-8

荒れ野に旅人の宿を見いだせるものなら、わたしはこの民を捨て彼らを離れ去るであろう。・・・

マタイによる福音書 6:25-34

「だから言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと・・・

マタイによる福音書 21:28-32

…はつきり言うておく。徴税人や娼婦たちの方が、あなたたちより先に神の国に入るだろう。・・・

マルコによる福音書 2:13-17

…そして通りがかりに、アルファイの子レビが収税所に座っているのを見かけて・・・

マルコによる福音書 6:1-6

イエスはそこを去って故郷にお帰りになったが、・・・

マルコによる福音書 14:3-9

…この人のしたことも記念として語り伝えられるだろう。

ルカによる福音書 8:26-39

一行は、ガリラヤの向こう岸にあるゲラサ人の地方に着いた。イエスが陸に上がられると・・・

ルカによる福音書 15:1-7

徴税人や罪人が皆、話を聞こうとしてイエスに近寄って来た。すると、ファリサイ派の・・・

ルカによる福音書 17:11-19

…ある村に入ると、重い皮膚病を患っている十人の人が出迎え、遠くの方に立ち止まったまま・・・

ヨハネによる福音書 4:43-54

二日後、イエスはそこを出発して、ガリラヤへ行かれた。・・・

使徒言行録 9:36-43

…ペトロはしばらくの間、ヤッファで皮なめし職人のシモンという人の家に滞在した。

使徒言行録 13:13-25

…イスラエルの人たち、ならびに神を畏れる方々、聞いてください。・・・

ローマの信徒への手紙 5:12-21

このようなわけで、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように・・・

ガラテヤの信徒への手紙 3:28

そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、・・・

(☆・・・2019年度、★・・・2020年度、新たに加えた箇所)

《 リタニーの参考例 》

1) リタニー

司会者 ^{しかいしや} 生れたところで ^{うま} 差別 ^{さべつ} するわたしたちがいます。

みんな でも、みんな ^{たいせつ} 大切なひとりひとり。

司会者 ^{しかいしや} 病気 ^{びようき} やしょうがいによって差別 ^{さべつ} するわたしたちがいます。

みんな でも、みんな ^{たいせつ} 大切なひとりひとり。

司会者 ^{しかいしや} イエスさまは、差別 ^{さべつ} された人々 ^{ひとびと} といっしょにご飯 ^{はん} を食べました。

みんな だから、みんな ^{たいせつ} 大切なひとりひとり。

司会者 ^{しかいしや} イエスさまは、病気 ^{びようき} に苦しむ人々 ^{くるひとびと} をぎゅーっと抱きしめられました。

みんな だから、みんな ^{たいせつ} 大切なひとりひとり。

司会者^{しかいしゃ} わたしたちを造^{つく}られた神様^{かみさま}が言^いわれます
全^{ぜん}員^{いん} みんな大切^{たいせつ}なひとりひとり。アーメン。

※このリタニーは、第10回部落解放全国会議の分科会（「部落解放祈りの日」式文を作ろう）にて参加者によって作成されました。子どもと一緒に祈ることを主眼にしています。「差別」を「仲間はずれ」と変換することも提案されました。

2) リタニー

司会者：「部落解放祈りの日」にあつて、私たちはあなたの前で、共に祈りを合わせます。

会 衆：主よ、私たちの心を開き、あなたにつなげてください。

司会者：あなたは、「光あれ！」という言葉をもってこの世界を創り、「見よ、それは極めて良かった！」と、一つ一つのいのちを祝福されました。

会 衆：主よ、私たちの心を照らし、その思いを分かち合う者とさせてください。

司会者：私たちが生きる社会には、そして私たち自身の心の中には、今も多くの差別が存在しています。

会 衆：主よ、私たちの心をただし、あらゆる差別から解き放ってください。

司会者：他者の痛み^{いたみ}に心を閉ざし、苦しむ誰か^{たれ}を遠ざけてしまう弱さと頑なさ^{がんなさ}を、私たちは誰しもが持っています。

会 衆：主よ、私たちの心を広げ、新たに創り変えてください。

司会者：あなたは今も、差別の痛み^{いたみ}に苦しむ一人一人と共にあり、解放の御業^{ごご}を続けておられます。

会 衆：主よ、私たちの心を励まし、その御業^{ごご}に連なる者とさせてください。

司会者：私たちはこれからも、あなたと共に、イエスとともに、解放への旅路^{りょろ}を歩み続けます。

会 衆：主よ、私たちの心を、あなたの「熱」と「光」で満たしてください。

一 同：荊冠^{きりぎり}の主イエス・キリストの御名^{ごな}によって、祈ります。

※このリタニーは、2021年度に行った「部落解放センター設立40周年記念礼拝」で用いたものを基に作成しました。



《 讃美歌の例 》

ひとつぶのからし種のように（讃美歌 2 1-1 9 9）

こころを一つに（讃美歌 2 1-3 9 3）★

キリストの腕は（讃美歌 2 1-4 1 3）

神の民は（讃美歌 2 1-4 1 6）

さあ、共に生きよう（讃美歌 2 1-4 1 9）

ウリエイウッソ（となり人はだれでしょう）

（讃美歌 2 1-4 2 1、改訂版こどもさんびか 1 0 8）

美しい大地は（讃美歌 2 1-4 2 4）

こすずめも、くじらも（讃美歌 2 1-4 2 5、改訂版こどもさんびか 1 1 3）

はかりも知れない（讃美歌 2 1-4 4 2）

気づかせてください（讃美歌 2 1-4 4 4）

飢えている人と（讃美歌 2 1-4 8 6）★

勝利をのぞみ（讃美歌 2 1-4 7 1、讃美歌第二編 1 6 4）

歩ませてください（賛美歌 2 1-5 0 5）☆

主の招く声が（讃美歌 2 1-5 1 6）

主が受け入れてくださるから（讃美歌 2 1-5 4 2）★

主イエスにおいては（讃美歌 2 1-5 6 0、讃美歌 4 1 9）

諸民族、諸国、世界の主よ（讃美歌 2 1-5 6 2）

ここに私はいます（讃美歌 2 1-5 6 3）

（★・・・2019 年度、☆・・・2020 年度加えたもの）

推薦図書 部落差別問題をもっと学びたい人のために

・走れキャラバン 部落解放1万2000キロの旅』藤本真、谷本一広、角樋平一、小柳伸顕 著
日本基督教団出版局 1993年

…部落解放を肉声で訴えるため82日間日本一周。600教会を訪れ、2500人の人々と出会ったキャラバン隊の涙と笑いの報告。

・『人間に光あれ 部落解放へのメッセージ』 教団部落解放センター編 2014年

…日本キリスト教団の部落解放の働きの中から生み出された説教集。

・『Buraku Liberation～Let Light Shine On All Of Humanity～』

教団部落解放センター編 2015年

…『人間に光あれ 部落解放へのメッセージ』英語版。

★『部落の歴史像 一東日本から起源と社会的性格を探る一』 藤沢靖介 著 解放出版社
2001年(2,600円)

『これでわかった! 部落の歴史』 上杉聰 著 解放出版社 2004年(2,000円)…豊富な歴史資料を盛り込みつつ講義形式でまとめられた部落史のテキスト。部落史を明晰な論理で整理しています。

『狭山事件の真実』 鎌田慧 著 岩波現代文庫 2010年(1,400円)…埼玉県狭山市で起こった女子高生誘拐殺人事件で部落差別により犯人に仕立て上げられた石川一雄さん。この事件の克明な記録です。

☆『知っていますか? 同和問題一問一答 第3版』奥田 均 編 解放出版社
2013年(1,200円+税)

☆『18歳から考える人権』 穴戸常寿 編 法律文化社 2015年(2,300円+税)

☆『部落解放を考える ～差別の現在と解放への探求』 友永健三 著 解放出版社
2015年(2,000円+税)

☆『入門 被差別部落の歴史』 寺木伸明、黒川みどり 著 解放出版社 2016年(2,200円+税)

★『結婚差別の社会学』 齋藤直子 著 勁草書房 2017年(2,000円)

★『東日本の部落史～Ⅰ関東編・Ⅱ東北・甲信越編・Ⅲ身分・生業・文化編～』

東日本部落研究所 編 2017年(Ⅰ・Ⅱ3,800円、Ⅲ3,300円)

★『ガイドブック部落差別解消推進法』 奥田 均 編著 解放出版社 2017年(1,400円)

(★…2018年度、☆…2020年度加えた図書)

全国水平社創立宣言

(旧字体、旧仮名遣いを一部変えています。)

ぜんこく さんざい わ とくしゅぶらくみん (注1) だんけつ
 全国に散在する吾が特殊部落民 よ團結せよ。
 なが あいだいじ き きょうだい (注2) よ、かこはんせいきかん しゅじゅ ほうほう おお ひとびと
 長い間 虐められて来た兄弟 よ、過去半世紀間に種々なる方法と、多くの人々によつてなされた吾等の爲めの運動が、何等の有難い効果を齎らさなかった事實は、夫等のすべてが吾々によって、又他の人々によって毎に人間を冒瀆されてゐた罰であつたのだ。そしてこれ等の人間を 勵 るかの如き運動は、かえつて多くの兄弟 (注2) を墮落させた事を想えば、此際吾等の中より人間を尊敬する事によって自ら解放せんとする者の集團運動を起せるは、寧ろ必然である。

きょうだい (注2) よ、われわれ せいせん じゆう びやうどう かつごうしや じつこうしや ろうれつ かいきゆう
 兄弟 よ、吾々の祖先は自由、平等の渴仰者であり、實行者であつた。陋劣なる階級政策の犠牲者であり男らしき (注2) 産業的殉教者であつたのだ。ケモノの皮剥ぐ報酬として、生々しき人間の皮を剥ぎ取られ、ケモノの心臓を裂く代價として、暖い人間の心臓を引裂かれ、そこへ下らない嘲笑の唾まで吐きかけられた呪われの夜の悪夢のうちにも、なお誇り得る人間の血は、涸れずにあつた。そうだ、そして吾々は、この血を享けて人間が神にかわりろうとする時代におうたのだ (注3)。犠牲者がその烙印を投げ返す時が来たのだ。殉教者が、その荊冠を祝福される時が来たのだ。

われわれ こと ほこ う とき き
 吾々がエタ (注4) である事を誇り得る時が来たのだ。
 われわれ ことば きやうだ こうい せいせん はずか にんげん ぼうとく
 吾々は、かならず卑屈なる言葉と怯懦なる行爲によって、祖先を辱しめ、人間を冒瀆してはならぬ。そうして人の世の冷たさが、何んなに冷たいか、人間を 勵 る事が何んであるかをよく知つてゐる吾々は、心から人生の熱と光を願求禮讃するものである。

すいへいしや うま
 水平社は、かくして生れた。

ひと よ ねつ にんげん ひかり
 人の世に熱あれ、人間に光あれ。

1922年3月3日 全国水平社創立大会

※「水平社宣言」についての注

注1 特殊部落民という言葉は被差別部落に対する歴史的社会的差別語です。水平社の人々はこれをプラスの言葉とすべく、あえて用いたと考えられます。

注2 性差別についての問題意識が希薄であつたための表現であると思われます。

注3 これについては諸説がありますが、部落差別による蔑視をはね返す決意として受けとめたいと思います。

注4 「エタ」という言葉も被差別部落に対する歴史的、社会的差別語です「特殊部落民」と同様にプラスの言葉とすべく、あえて用いたと考えられます。